

ものの言い方

ものの言い方が悪いと、人の心は傷つきます。

一度傷ついたほうは、なかなか治りません。

一生恨まれることもあります。

いくら良いことを言っても、相手の心を傷つけたのでは大きな罪です。言葉ひとつで人を殺すこともできるからです。

言った本人は、なんにも気が付いていない場合が多いものです。その原因は、人の気持ちより自分の気持ちを大切にしているから、人の心がまったく見えなくなっているのかもしれない。

自分を小さく、人を大きく見ていると、人の心が見えてきます。人を重く見ると、尊敬や感謝の気持ちも生まれてきます。

自然とていねいな言葉が出ます。口をはっきり開けて、ものを言うはずです。

人を軽く見ている人の言葉は、ほとんど相手には通じていないものです。

「千人の上に立つ者は、千人の下に心を置け」と天理教の教祖は言いました。